厚生労働大臣が基準を定めて指定する医療機器(平成 17 年厚生労働省告示第 112 号)別表の 110 基本要件適合性チェックリスト(ホルムアルデヒドガス消毒器基準)

第一章 一般的要求事項

第一早 一般的安水事項 甘木無供	当機器への	海合の大汗	性字文書の変切
基本要件	適用不適用	適合の方法	特定文書の確認
(設計)	適用	要求項目を包含する認知さ	医療機器及び体外診断用医
第1条 医療機器(専ら動物のために使用され		れた基準に適合することを	薬品の製造管理及び品質管
ることが目的とされているものを除く。以下		示す。	理の基準に関する省令(平成
同じ。) は、当該医療機器の意図された使用			16年厚生労働省令第169号)
条件及び用途に従い、また、必要に応じ、技			
術知識及び経験を有し、並びに教育及び訓練		認知規格に従ってリスク管	
を受けた意図された使用者によって適正に		理が計画・実施されているこ	クマネジメントの医療機器へ
使用された場合において、患者の臨床状態及		とを示す。	の適用
び安全を損なわないよう、使用者及び第三者			
(医療機器の使用にあたって第三者の安全			
や健康に影響を及ぼす場合に限る。)の安全			
や健康を害すことがないよう、並びに使用の			
際に発生する危険性の程度が、その使用によ			
って患者の得られる有用性に比して許容で			
きる範囲内にあり、高水準の健康及び安全の			
確保が可能なように設計及び製造されてい			
なければならない。			
(リスクマネジメント)	適用	該当機器に適用されるべき	JIS C 1010-1:測定、制御及び
第2条 医療機器の設計及び製造に係る製造		最新技術に立脚した	研究室用電気機器の安全性
販売業者又は製造業者(以下「製造販売業者		JIS(IEC)、その他の安全規格	第1部:一般的要求事項
等」という。)は、最新の技術に立脚して医		に適合していることを示す。	
療機器の安全性を確保しなければならない。			IEC61010-2-042: 1997
危険性の低減が要求される場合、製造販売業			Safety requirements for
者等は各危害についての残存する危険性が			electrical equipment for
許容される範囲内にあると判断されるよう			measurement, control, and
に危険性を管理しなければならない。この場			laboratory use Part 2-042:
合において、製造販売業者等は次の各号に掲			Particular requirements for
げる事項を当該各号の順序に従い、危険性の			autoclaves using steam for
管理に適用しなければならない。			the treatment of medical
一 既知又は予見し得る危害を識別し、意図			materials, and for
された使用方法及び予測し得る誤使用に			laboratory processes
起因する危険性を評価すること。			
二 前号により評価された危険性を本質的			JIS T 7328: 医療用ホルムアル
な安全設計及び製造を通じて、合理的に			デヒドガス消毒器
実行可能な限り除去すること。			
三 前号に基づく危険性の除去を行った後			JIS C1806-1:計測、制御及び
に残存する危険性を適切な防護手段(警			試験室使用の電気装置 - 電磁
報装置を含む。) により、実行可能な限り			両立性(EMC)要求
低減すること。			
四 第二号に基づく危険性の除去を行った		認知規格に従ってリスク管	JIS T 14971: 医療機器 - リス
後に残存する危険性を示すこと。		理が計画・実施されているこ	クマネジメントの医療機器へ
		とを示す。	の適用

	1		
(医療機器の性能及び機能)	適用	要求項目を包含する認知さ	医療機器及び体外診断用医
第3条 医療機器は、製造販売業者等の意図す		れた基準に適合することを	薬品の製造管理及び品質管
る性能を発揮できなければならず、医療機器		示す。	理の基準に関する省令(平成
としての機能を発揮できるよう設計、製造及			16 年厚生労働省令第 169 号)
び包装されなければならない。			
			JIS T 7328: 医療用ホルムアル
			デヒドガス消 毒 器
(製品の寿命)	適用	要求項目を包含する認知さ	医療機器及び体外診断用医
第4条 製造販売業者等が設定した医療機器		れた基準に適合することを	薬品の製造管理及び品質管
の製品の寿命の範囲内において当該医療機		示す。	理の基準に関する省令(平成
器が製造販売業者等の指示に従って、通常の			16 年厚生労働省令第 169 号)
使用条件下において発生しうる負荷を受け、			
かつ、製造販売業者等の指示に従って適切に		認知規格に従ってリスク管	JIS T 14971: 医療機器 - リス
保守された場合に、医療機器の特性及び性能		理が計画・実施されているこ	クマネジメントの医療機器へ
は、患者又は使用者若しくは第三者の健康及		とを示す。	の適用
び安全を脅かす有害な影響を与える程度に			
劣化等による悪影響を受けるものであって			
はならない。			
(輸送及び保管等)	適用	要求項目を包含する認知さ	医療機器及び体外診断用医
第5条 医療機器は、製造販売業者等の指示及		れた基準に適合することを	薬品の製造管理及び品質管
び情報に従った条件の下で輸送及び保管さ		示す。	理の基準に関する省令(平成
れ、かつ意図された使用方法で使用された場			16 年厚生労働省令第 169 号)
合において、その特性及び性能が低下しない			
よう設計、製造及び包装されていなければな		認知規格に従ってリスク管	JIS T 14971 : 医療機器 - リス
らない。		理が計画・実施されているこ	クマネジメントの医療機器へ
		とを示す。	の適用
(医療機器の有効性)	適用	認知規格に従ってリスク管	JIS T 14971: 医療機器 - リス
第6条 医療機器の意図された有効性は、起こ		理が計画・実施されているこ	クマネジメントの医療機器へ
りうる不具合を上回るものでなければなら		とを示す。	の適用
ない。			
		該当機器に適用されるべき	JIS T 7328: 医療用ホルムアル
		最新技術に立脚したJIS、そ	デヒドガス消 毒 器
		の他の安全規格に適合する	4.設計上の要求事項
		ことを示す。	

第二章 設計及び製造要求事項

第二章 設計及び製造要求事項			
(医療機器の化学的特性等)	1		
第7条 医療機器は、前章の要件を満たすほか、使用材料の選定について、必要に応じ、次の各号に掲げる事項について注意が払われた上で、設計及び製造されていなければならない。			
一毒性及び可燃性	適用	発火や火災に対する防止策が盛り込まれているために、 発火する可能性はほとんどない。	JIS C 1010-1:測定、制御及び研究室用電気機器の安全性第1部:一般的要求事項 9. 機器の温度限界と火の燃え広がりに対する保護 10. 耐熱性 IEC 61010-2-042:1997 Safety requirements for electrical equipment for measurement, control, and laboratory use Part 2-042: Particular requirements for autoclaves using steam for the treatment of medical materials, and for laboratory processes 9 Equipment temperature limits and protection against the spread of fire 10 Resistance to heat
二 使用材料と生体組織、細胞、体液及び検体との間の適合性	不適用	毒性/生体適合性に関し、意図して生体組織、細胞及び体液と接触する部分は、一般的にこの機器にはない。	
三・硬度、摩耗及び疲労度等	適用	認知された規格・基準の該当 する項目に適合することを 示す。	JIS C 1010-1:測定、制御及び研究室用電気機器の安全性第1部:一般的要求事項7.機械的危険に対する保護8.衝撃および衝突に対する機械的耐性
			IEC 61010-2-042:1997 Safety requirements for electrical equipment for measurement, control, and laboratory use Part 2-042: Particular requirements for autoclaves using steam for

	1		
			the treatment of medical
			materials, and for
			laboratory processes
			7.Protection against mechanical hazards
			8.Mechanical resistance to
	\ *	+77457-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	shock and impact
2 医療機器は、その使用目的に応じ、当該医療機器の含さ、保管などに関する	適用	認知された規格・基準の該当	JIS C 1010-1: 測定、制御及び
療機器の輸送、保管及び使用に携わる者及び		する項目に適合することを	研究室用電気機器の安全性
患者に対して汚染物質及び残留物質(以下		示す。	第1部:一般的要求事項
「汚染物質等」という。)が及ぼす危険性を			10. 耐熱性
最小限に抑えるように設計、製造及び包装されていなければなる。また、活法物質等に			11. 流体の危険に対する保護
れていなければならず、また、汚染物質等に			IFO 04040 0 040 : 4007
接触する生体組織、接触時間及び接触頻度に			IEC 61010-2-042 : 1997
ついて注意が払われていなければならない。			Safety requirements for
			electrical equipment for
			measurement, control, and
			laboratory use Part 2-042: Particular requirements for
			autoclaves using steam for
			the treatment of medical
			materials, and for
			laboratory processes
			10 Resistance to heat
			11 Protection against
			hazards from fluids
			nazarus mom mutus
		 認知規格に従ってリスク管	 JIS T 14971:医療機器 - リス
		理が計画・実施されているこ	クマネジメントの医療機器へ
		とを示す。	の適用
	適用	該当機器に適用されるべき	JIS T 14971:医療機器 - リス
療機器と同時に使用される各種材料、物質又		最新技術に立脚したJIS、そ	クマネジメントの医療機器へ
はガスと安全に併用できるよう設計及び製		の他の安全規格に適合する	の適用
造されていなければならず、また、医療機器		ことを示す。	
の用途が医薬品の投与である場合、当該医療		-	
機器は、当該医薬品の承認内容及び関連する	不適用	医薬品の投与を意図したも	
基準に照らして適切な投与が可能であり、そ		のではない。	
の用途に沿って当該医療機器の性能が維持			
されるよう、設計及び製造されていなければ			
ならない。			
4 医療機器がある物質を必須な要素として	適用	当該機器に適用されるべき	JIS T 7328: 医療用ホルムアル
含有し、当該物質が単独で用いられる場合に		最新技術に立脚した JIS,そ	デヒドガス消毒器
医薬品に該当し、かつ、当該医療機器の性能		の他の安全規格に適合する	
を補助する目的で人体に作用を及ぼす場合、		ことを示す。	IEC61010 - 2 - 042 : 1997
当該物質の安全性、品質及び有効性は、当該			Safety requirements for
医療機器の使用目的に照らし、適正に検証さ			electrical equipment for
れなければならない。			measurement, control, and
			laboratory use - Part 2-042:
			Particular requirements for
	<u> </u>		1

5 医療機器は、当該医療機器から溶出又は漏 出する物質が及ぼす危険性が合理的に実行 可能な限り、適切に低減するよう設計及び製 造されていなければならない。	適用	該当機器に適用されるべき 最新技術に立脚したJIS、そ の他の安全規格に適合する ことを示す。	autoclaves and sterilizers using toxic gas for the treatment of medical materials, and for laboratory processes 13. 1 Poisonous and injurious gases JIS T 7328: 医療用ホルムアル デヒドガス消毒器 4.2.1 扉又はふたのインター ロック
		認知規格に従ってリスク管 理が計画・実施されていることを示す。	JIS T 14971 : 医療機器 - リス クマネジメントの医療機器へ の適用
6 医療機器は、合理的に実行可能な限り、当該医療機器自体及びその目的とする使用環境に照らして、偶発的にある種の物質がその医療機器へ侵入する危険性又はその医療機器から浸出することにより発生する危険性	適用	該当機器に適用されるべき 最新技術に立脚したJIS、そ の他の安全規格に適合する ことを示す。	JIS T 7328: 医療用ホルムアル デヒドガス消毒器 4.1.4 エアフィルタ
を、適切に低減できるよう設計及び製造され ていなければならない。		認知規格に従ってリスク管 理が計画・実施されているこ とを示す。	JIS T 14971 : 医療機器 - リス クマネジメントの医療機器へ の適用
(微生物汚染等の防止)			
第8条 医療機器及び当該医療機器の製造工程は、患者、使用者及び第三者(医療機器の使用にあたって第三者に対する感染の危険性がある場合に限る。)に対する感染の危険性がある場合、これらの危険性を、合理的に実行可能な限り、適切に除去又は軽減するよう、次の各号を考慮して設計されていなければならない。	不適用	一般的に感染及び微生物汚染に関するリスクがある機器ではない。	
二 必要に応じ、使用中の医療機器からの微生物漏出又は曝露を、合理的に実行可能な限り、適切に軽減すること。			
三 必要に応じ、患者、使用者及び第三者に よる医療機器又は検体への微生物汚染を 防止すること。			
2 医療機器に生物由来の物質が組み込まれている場合、適切な入手先、ドナー及び物質を選択し、妥当性が確認されている不活性化、保全、試験及び制御手順により、感染に	不適用	生物由来の物質を組み込む機器ではない。	

	1	Т	
関する危険性を、合理的かつ適切な方法で低			
減しなければならない。			
3 医療機器に組み込まれた非ヒト由来の組	不適用	非ヒト由来の組織、細胞及び	
織、細胞及び物質(以下「非ヒト由来組織等」		物質を組み込む機器ではな	
という。) は、当該非ヒト由来組織等の使用		ι ₁ ,	
目的に応じて獣医学的に管理及び監視され			
た動物から採取されなければならない。製造			
販売業者等は、非ヒト由来組織等を採取した			
動物の原産地に関する情報を保持し、非ヒト			
由来組織等の処理、保存、試験及び取扱いに			
おいて最高の安全性を確保し、かつ、ウィル			
スその他の感染性病原体対策のため、妥当性			
が確認されている方法を用いて、当該医療機			
器の製造工程においてそれらの除去又は不			
活性化を図ることにより安全性を確保しな			
ければならない。			
4 医療機器に組み込まれたヒト由来の組織	不適用	 生物由来の物質を組み込む	
	小週川		
細胞及び物質(以下「ヒト由来組織等」とい		機器ではない。	
う。)は、適切な入手先から入手されたもの			
でなければならない。製造販売業者等は、ド			
ナー又はヒト由来の物質の選択、ヒト由来組			
織等の処理、保存、試験及び取扱いにおいて			
最高の安全性を確保し、かつ、ウィルスその			
他の感染性病原体対策のため、妥当性が確認			
されている方法を用いて、当該医療機器の製			
造工程においてそれらの除去又は不活性化			
を図り、安全性を確保しなければならない。			
5 特別な微生物学的状態にあることを表示	不適用	特別な微生物学的状態にあ	· ·
した医療機器は、販売時及び製造販売業者等	1 22/13	ることを表示した機器では	
により指示された条件で輸送及び保管する			
		ない。	
時に当該医療機器の特別な微生物学的状態			
を維持できるように設計、製造及び包装され			
ていなければならない。			
6 滅菌状態で出荷される医療機器は、再使用	不適用	滅菌状態で出荷される機器	
が不可能である包装がなされるよう設計及		ではない。	
び製造されなければならない。当該医療機器			
の包装は適切な手順に従って、包装の破損又			
は開封がなされない限り、販売された時点で			
無菌であり、製造販売業者によって指示され			
た輸送及び保管条件の下で無菌状態が維持			
され、かつ、再使用が不可能であるようにさ			
れてなければならない。			
•		4+0012-06114-324-015-22	
7 滅菌又は特別な微生物学的状態にあるこ	不適用	特別な微生物学的状態にあ	
とを表示した医療機器は、妥当性が確認され		ることを表示した機器では	
ている適切な方法により滅菌又は特別な微		ない。	
生物学的状態にするための処理が行われた			
上で製造され、必要に応じて滅菌されていな			
ければならない。			
8 滅菌を施さなければならない医療機器は、	不適用	滅菌を施さなければならな	

6. 表示

適切に管理された状態で製造されなければ		い機器ではない。	
ならない。			
9 非滅菌医療機器の包装は、当該医療機器の	不適用	一般的に感染及び微生物汚	
品質を落とさないよう所定の清浄度を維持	1 ~27.3	染に関するリスクがある機	
するものでなければならない。使用前に滅菌		器ではない。	
を施さなければならない医療機器の包装は、		前式 Clovので	
微生物汚染の危険性を最小限に抑え得るよ			
うなものでなければならない。この場合の			
包装は、滅菌方法を考慮した適切なものでな			
ければならない。			
10 同一又は類似製品が、滅菌及び非滅菌の	不適用	滅菌及び非滅菌の両方の状	
両方の状態で販売される場合、両者は、包装		態で販売される機器ではな	
及びラベルによってそれぞれが区別できる		ι \ 。	
ようにしなければならない。			
(製造又は使用環境に対する配慮)	ı	1	
医療機器が、他の医療機器又は体外診断薬又は	適用(組み	使用に際して必要な情報が	医療機器の添付文書の記載要
装置と組み合わせて使用される場合、接続系を	合わせを行	提供されることを示す。	領について(薬食発第0310003
含めたすべての組み合わせは、安全であり、各	う場合)	JAEINCH VOCC CANO	号 平成 17年 3月 10日)
医療機器又は体外診断薬が持つ性能が損なわ	プラッカー 		3 1/12 17 2 3 10 10 1
れないようにしなければならない。組み合わ			 JIS C 1010-1:測定、制御及び
される場合、使用上の制限事項は、直接表示す			研究室用電気機器の安全性
るか添付文書に明示しておかなければならな			第1部:一般的要求事項
			5.4.4 機器の操作
			IEC 61010-2-042 : 1997
			Safety requirements for
			electrical equipment for
			measurement, control, and
			laboratory use Part 2-042:
			Particular requirements for
			autoclaves using steam for
			the treatment of medical
			materials, and for
			laboratory processes
			5 Marking and documentation
			5.4.1 General
			JIS T 7328:医療用ホルムアル
			デヒドガス消毒器
	1		l -

第9条 医療機器については、次の各号に掲げ			
第9条 医療機能に りいては、人の音号に指り る危険性が、合理的かつ適切に除去又は低減			
されるように設計及び製造されなければな			
らない			
一 物理的特性に関連した傷害の危険性	適用	認知された規格・基準の該当 する項目に適合することを 示す。	JIS C 1010-1: 測定、制御及び研究室用電気機器の安全性第1部: 一般的要求事項1.4環境条件7. 機械的危険に対する保護8. 衝撃及び衝突に対する機械的耐性
			IEC 61010-2-042:1997 Safety requirements for electrical equipment for measurement, control, and laboratory use Part 2-042: Particular requirements for autoclaves using steam for the treatment of medical materials, and for laboratory processes 1.4 Environmental 7.Protection against mechanical hazards 8.Mechanical resistance to shock and impact
			JIS T 7328: 医療用ホルムアル デヒドガス消毒器 4.1 消毒器の設計、構造、部品 および付属品 4.2 消毒器の安全性
		認知規格に従ってリスク管理が計画・実施されていることを示す。	JIS T 14971: 医療機器 - リス クマネジメントの医療機器へ の適用
二 合理的に予測可能な外界からの影響又 は環境条件に関連する危険性	適用	認知された規格・基準の該当 する項目に適合することを 示す。	JIS C1806-1 計測、制御及び試験室使用の電気装置 - 電磁両立性 (EMC)要求
三 通常の状態で使用中に接触する可能性 のある原材料、物質及びガスとの同時使 用に関連する危険性	適用	認知規格に従ってリスク管 理が計画・実施されているこ とを示す。	JIS T 14971: 医療機器 - リス クマネジメントの医療機器へ の適用
四 物質が偶然医療機器に侵入する危険性	適用	認知規格に従ってリスク管 理が計画・実施されているこ とを示す。	JIS T 14971 : 医療機器 - リス クマネジメントの医療機器へ の適用

		<u> </u>	
五 検体を誤認する危険性	不適用		
六 研究又は治療のために通常使用される 他の医療機器又は体外診断用医薬品と相 互干渉する危険性	適用	認知規格に従ってリスク管 理が計画・実施されていることを示す。	JIS T 14971 : 医療機器 - リス クマネジメントの医療機器へ の適用
七 保守又は較正が不可能な場合、使用材料 が劣化する場合又は測定若しくは制御の 機構の精度が低下する場合などに発生す る危険性	適用	認知規格に従ってリスク管 理が計画・実施されていることを示す。	JIS T 14971 : 医療機器 - リス クマネジメントの医療機器へ の適用
			JIS T 7328: 医療用ホルムアル デヒドガス消毒器 6. 表示 4.1 消毒器の設計、構造、部品 および附属品
2 医療機器は、通常の使用及び単一の故障状	適用	認知された規格・基準の該当	JIS C 1010-1: 測定、制御及び
態において、火災又は爆発の危険性を最小限		する項目に適合することを	研究室用電気機器の安全性
度に抑えるよう設計及び製造されていなけ		示す。	第1部:一般的要求事項
ればならない。可燃性物質又は爆発誘因物質			9. 機器の燃え広がりに対する
に接触して使用される医療機器については、			保護
細心の注意を払って設計及び製造しなけれ			10. 耐熱性
ばならない。			11. 流体の危険に対する保護
			IEC 61010-2-042 : 1997
			Safety requirements for
			electrical equipment for
			measurement, control, and
			laboratory use Part 2-042:
			Particular requirements for
			autoclaves using steam for
			the treatment of medical
			materials, and for
			laboratory processes
			9 Equipment temperature
			limits and protection
			against the spread of fire
			10 Resistance to heat
			11 Protection against
			hazards from fluids
			110 T 7000 E T T 1 1 1 - 1
			JIS T 7328: 医療用ホルムアル
			デヒドガス消毒器
3 医療機器は、すべての廃棄物の安全な処理	海田	初知担故に従ってリフカ笠	4. 設計上の要求事項 US T 14071 · 医療機器 U.7
3 医療機器は、すべての廃棄物の安全な処理 を容易にできるように設計及び製造されて	適用	認知規格に従ってリスク管 理が計画・実施されているこ	JIS T 14971 : 医療機器 - リス クマネジメントの医療機器へ
を合勿にてきるように設計及び製造されていなければならない。		達が計画・美胞されていると とを示す。	クマネシスノトの医療機能への適用
(測定又は診断機能に対する配慮)	[CC/1170	V/21]

第10条 測定機能を有する医療機器は、その	不適用	物品を消毒する医療機器で	
不正確性が患者に重大な悪影響を及ぼす可	小炮用		
)ある。 	
能性がある場合、当該医療機器の使用目的に			
照らし、十分な正確性、精度及び安定性を有			
するよう、設計及び製造されていなければな			
らない。正確性の限界は、製造販売業者等に			
よって示されなければならない。			
2 診断用医療機器は、その使用目的に応じ、	不適用	物品を消毒する医療機器で	
適切な科学的及び技術的方法に基づいて、十		ある。	
分な正確性、精度及び安定性を得られるよう			
に設計及び製造されていなければならない。			
設計にあたっては、感度、特異性、正確性、			
反復性、再現性及び既知の干渉要因の管理並			
びに検出限界に適切な注意を払わなければ			
ならない。			
3 診断用医療機器の性能が較正器又は標準	不適用	性能が校正器又は標準物質	
物質の使用に依存している場合、これらの較		の使用に依存している機器	
正器又は標準物質に割り当てられている値		ではない。	
の遡及性は、品質管理システムを通して保証		C16/6V 10	
されなければならない。			
4 測定装置、モニタリング装置又は表示装置	 適用		 JIS T 14971 : 医療機器 - リス
の目盛りは、当該医療機器の使用目的に応			クマネジメントの医療機器へ
じ、人間工学的な観点から設計されなければ		とを示す。	フィイングントの区域機能へ の適用
		こを示す。	
ならない。	一	************************************	110040404、河宁 生地切开了
5 数値で表現された値については、可能な限	適用 	認知された規格・基準の該当	JIS C 1010-1:測定、制御及び
り標準化された一般的な単位を使用し、医療		する項目に適合することを	研究室用電気機器の安全性
機器の使用者に理解されるものでなければ		示す。	第1部:一般的要求事項
ならない。			5.1 表示
			JIS T 7328: 医療用ホルムアル
			デヒドガス消毒器
			4.3 工程モニタリング・制御シ
			ステム
(放射線に対する防御)	T-	I	
第11条 医療機器は、その使用目的に沿っ	不適用	この製品は、放射線を照射し	
て、治療及び診断のために適正な水準の放射		ない。	
線の照射を妨げることなく、患者、使用者及			
び第三者への放射線被曝が合理的、かつ適切			
に低減するよう設計、製造及び包装されてい			
なければならない。			
2 医療機器の放射線出力について、医療上そ	不適用	この製品は、放射線を照射し	
の有用性が放射線の照射に伴う危険性を上		ない。	
回ると判断される特定の医療目的のために、			
障害発生の恐れ又は潜在的な危害が生じる			
水準の可視又は不可視の放射線が照射され			
るよう設計されている場合においては、線量			
が使用者によって制御できるように設計さ			
れていなければならない。当該医療機器は、			
関連する可変パラメータの許容される公差			
ほぼするりタハノクーブの計合される公左	İ		I \

内で再現性が保証されるよう設計及び製造			
されていなければならない。			
3 医療機器が、潜在的に障害発生の恐れのあ	不適用	この製品は、放射線を照射し	
る可視又は不可視の放射線を照射するもの		ない。	
である場合においては、必要に応じ照射を確			
認できる視覚的表示又は聴覚的警報を具備			
していなければならない。			
4 医療機器は、意図しない二次放射線又は散	不適用	この製品は、放射線を照射し	
乱線による患者、使用者及び第三者への被曝		ない。	
		/AV 10	
を可能な限り軽減するよう設計及び製造さ			
れていなければならない。			
5 放射線を照射する医療機器の取扱説明書	不適用	この製品は、放射線を照射し	
には、照射する放射線の性質、患者及び使用		ない。	
者に対する防護手段、誤使用の防止法並びに			
据付中の固有の危険性の排除方法について、			
詳細な情報が記載されていなければならな			
l lo			
6 電離放射線を照射する医療機器は、必要に	不適用	この製品は、電離放射線を照	
応じ、その使用目的に照らして、照射する放	1 22/13	射しない。	
射線の線量、幾何学的及びエネルギー分布		310/40%	
(又は線質)を変更及び制御できるよう、設			
計及び製造されなければならない。			
7 電離放射線を照射する診断用医療機器は、	不適用	この製品は、電離放射線を照	
患者及び使用者の電離放射線の被曝を最小		射しない。	
限に抑え、所定の診断目的を達成するため、			
適切な画像又は出力信号の質を高めるよう			
設計及び製造されていなければならない。			
- 8 電離放射線を照射する治療用医療機器は、	不適用	この製品は、電離放射線を照	
照射すべき線量、ビームの種類及びエネルギ	1 ~27.3	射しない。	
一並びに必要に応じ、放射線ビームのエネル		310.80%	
ギー分布を確実にモニタリングし、かつ制御			
できるよう設計及び製造されていなければ			
ならない。			
(能動型医療機器に対する配慮)	1		
第12条 電子プログラムシステムを内蔵し	適用	認知された規格・基準の該当	IEC 61010-2-042 : 1997
た医療機器は、ソフトウェアを含めて、その		する項目に適合することを	Safety requirements for
使用目的に照らし、これらのシステムの再現		示す。	electrical equipment for
性、信頼性及び性能が確保されるよう設計さ			measurement, control, and
れていなければならない。また、システムに			laboratory use Part 2-042:
一つでも故障が発生した場合、実行可能な限			Particular requirements for
り、当該故障から派生する危険性を適切に除			autoclaves using steam for
去又は軽減できるよう、適切な手段が講じら			the treatment of medical
れていなければならない。			materials, and for
1 い (い いみ) ノ1 いはんりんい い。			· ·
			laboratory processes
			14.103 Control system
			14.104 Microprocessor
		+=+=1=1+. W	
		認知規格に従ってリスク管	JIS T 14971:医療機器 - リス

		理が計画・実施されているこ	クマネジメントの医療機器へ
		とを示す。	の適用
2 内部電源医療機器の電圧等の変動が、患者 の安全に直接影響を及ぼす場合、電力供給状	不適用	電源状態が患者の安全に直 結する機器ではない。	
況を判別する手段が講じられていなければ ならない。			
3 外部電源医療機器で、停電が患者の安全に	不適用	電源状態が患者の安全に直	
直接影響を及ぼす場合、停電による電力供給		結する機器ではない。	
不能を知らせる警報システムが内蔵されて			
いなければならない。			
4 患者の臨床パラメータの一つ以上をモニ	不適用	臨床パラメータをモニター	
タに表示する医療機器は、患者が死亡又は重		する機器ではない。	
篤な健康障害につながる状態に陥った場合、			
それを使用者に知らせる適切な警報システ			
ムが具備されていなければならない。			
5 医療機器は、通常の使用環境において、当	適用	認知された規格・基準の該当	JIS C1806-1:計測、制御及び
該医療機器又は他の製品の作動を損なう恐		する項目に適合することを	試験室使用の電気装置 - 電磁
れのある電磁的干渉の発生リスクを合理的、		示す。	両立性 (EMC)要求
かつ適切に低減するよう設計及び製造され			
ていなければならない。			
6 医療機器は、意図された方法で操作できる	適用	認知された規格・基準の該当	JIS C1806-1:計測、制御及び
ために、電磁的妨害に対する十分な内在的耐	~	する項目に適合することを	試験室使用の電気装置 - 電磁
性を維持するように設計及び製造されてい		示す。	両立性(EMC)要求
なければならない。		3.70	
7 医療機器が製造販売業者等により指示さ		認知された規格・基準の該当	JIS C 1010-1 :
れたとおりに正常に据付けられ及び保守さ	,2/1)	する項目に適合することを	測定、制御及び研究室用電気機
れており、通常使用及び単一故障状態におい		示す。	器の安全性 第1部:一般的要
て、偶発的な電撃リスクを可能な限り防止で		3.70	求事項
きるよう設計及び製造されていなければな			6.感電に対する保護
らない。			
2 3.0 %			IEC 61010-2-042: 1997
			Safety requirements for
			electrical equipment for
			measurement, control, and
			laboratory use Part 2-042:
			Particular requirements for
			autoclaves using steam for
			the treatment of medical
			materials, and for
			laboratory processes
			6.Protection against
			electric shock
(機械的危険性に対する配慮)	I		
第13条 医療機器は、動作抵抗、不安定性及	適用	認知された規格・基準の該当	JIS C 1010-1:測定、制御及び
び可動部分に関連する機械的危険性から、患		する項目に適合することを	研究室用電気機器の安全性
者及び使用者を防護するよう設計及び製造		示す。	第1部:一般的要求事項
されていなければならない。		-	7.機械的危険に対する保護
			8.衝撃及び衝突に対する機械
			的耐性
L	1		

		T
		IEC 61010-2-042:1997 Safety requirements for electrical equipment for measurement, control, and laboratory use Part 2-042: Particular requirements for autoclaves using steam for the treatment of medical materials, and for laboratory processes 7.Protection against mechanical hazards 8.Mechanical resistance to shock and impact JIS T 7328: 医療用ホルムアルデヒドガス消毒器 4. 設計上の要求事項
	認知規格に従ってリスク管理が計画・実施されていることを示す。	JIS T 14971: 医療機器 - リス クマネジメントの医療機器へ の適用
第13条 医療機器は、動作抵抗、不安定性及 び可動部分に関連する機械的危険性から、患 者及び使用者を防護するよう設計及び製造 されていなければならない。	認知された規格・基準の該当 する項目に適合することを 示す。	JIS C 1010-1: 測定、制御及び研究室用電気機器の安全性第1部:一般的要求事項7.機械的危険に対する保護8.衝撃及び衝突に対する機械的耐性
		IEC 61010-2-042:1997 Safety requirements for electrical equipment for measurement, control, and laboratory use Part 2-042: Particular requirements for autoclaves using steam for the treatment of medical materials, and for laboratory processes 7.Protection against mechanical hazards 8.Mechanical resistance to shock and impact
		JIS T 7328: 医療用ホルムアル デヒドガス消毒器 4. 設計上の要求事項

		認知規格に従ってリスク管	JIS T 14971: 医療機器 - リス
		理が計画・実施されているこ	クマネジメントの医療機器へ
		とを示す。	の適用
2 医療機器は、振動発生が仕様上の性能の一	不適用	リスクになる振動を発生す	
つである場合を除き、特に発生源における振		る機器ではない。	
動抑制のための技術進歩や既存の技術に照			
らして、医療機器自体から発生する振動に起			
因する危険性を実行可能な限り最も低い水			
準に低減するよう設計及び製造されていな			
ければならない。			
3 医療機器は、雑音発生が仕様上の性能の一	適用	認知規格に従ってリスク管	 JIS T 14971: 医療機器 - リス
つである場合を除き、特に発生源における雑	152/13	理が計画・実施されているこ	クマネジメントの医療機器へ
音抑制のための技術進歩や既存の技術に照		とを示す。	の適用
		上 在小乡。	の適用
らして、医療機器自体から発生する雑音に起			110 7 7000 : 医床四七川 / 711
因する危険性を、可能な限り最も低水準に抑		認知された規格・基準の該当	JIS T 7328: 医療用ホルムアル
えるよう設計及び製造されていなければな		する項目に適合することを	デヒドガス消毒器
らない。		示す。	4.2.4 騒音
4 使用者が操作しなければならない電気、ガ	適用	認知された規格・基準の該当	IEC61010-2-042: 1997
ス又は水圧式若しくは空圧式のエネルギー		する項目に適合することを	Safety requirements for
源に接続する端末及び接続部は、可能性のあ		示す。	electrical equipment for
るすべての危険性が最小限に抑えられるよ			measurement, control, and
う、設計及び製造されていなければならな			laboratory use - Part 2-042:
l ι,			Particular requirements for
			autoclaves using steam for
			the treatment of medical
			materials, and for
			laboratory processes
			11.102 Interruption of
			•
			supplies and service
		認知規格に従ってリスク管	JIS T 14971: 医療機器 - リス
		理が計画・実施されているこ	クマネジメントの医療機器へ
		とを示す。	の適用
5 医療機器のうち容易に触れることのでき	適用	認知された規格・基準の該当	JIS C 1010-1:測定、制御及び
る部分(意図的に加熱又は一定温度を維持す		する項目に適合することを	研究室用電気機器の安全性
る部分を除く。) 及びその周辺部は、通常の		示す。	第1部:一般的要求事項
使用において、潜在的に危険な温度に達する			9. 機器の燃え広がりに対する
ことのないようにしなければならない。			保護
			10. 耐熱性
			IEC 61010-2-042 : 1997
			Safety requirements for
			electrical equipment for
			measurement, control, and
			laboratory use Part 2-042:
			•
			Particular requirements for
			autoclaves using steam for
			the treatment of medical
			materials, and for

Iaboratory processes 9 Equipment temperature Initis and protection against the spread of fire 10 Resistance to heat		T		
【Imits and protection against the spread of fire 10 Resistance to heat (エネルギーを供給する医療機器に対する配慮) 第14条 患者にエネルギー又は物質を供給 する医療機器は、患者及び使用者の安全を保 に供給する機器ではない 証するため、供給量の設定及び維持ができるよう設計及び製造されていなければならない。 10、2 医療機器には、危険が及ぶ恐れのある不適正なエネルギー又は物質の供給を防止又は 置告する手段が具備され、エネルギー源文は物質の供給源からの危険量のエネルギーや物質の偶角的な放出を可能な限り防止する適切な手段が講じられていなければならない。 13 医療機器には、制御器及び表示器の機能が 不適用 エネルギー又は物質を患者に供給する機器ではない には操作では調料をしまれていなければならない。 14作に必要な指示を医療機器に表示する場合、或いは操作又は調整用のパラメータを視覚的に示す場合、これらの情報は、使用者(医療機器の使用にあたって患者の安全及び健康等に影響を及ぼす場合に限り、患者も含む。)にとって、容易に理解できるものでなければならない。 16 日之検査医療機器等に対する配慮 不適用 自己検査医療機器・自己技術及び環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適大が良び環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適大が良び環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適大が良び環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適大が良び環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適大が良び環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適大が影響、自己技権医療機器・自己技権医療機器・自己技権医療機器・自己技権医療機器・自己技権医療機器・自己技権医療機器・自己技権医療機器・自己技権医療機器・自己技権医療機器・自己技権医療機器・自己技権医療機器・自己技権と関係が影響、自己技術医療機器・自己技術と関係が影響、自己技術医療機器・自己技術と関係が影響、自己技術医療機器・自己技術と関係を関いている。				laboratory processes
(エネルギーを供給する医療機器に対する配慮) 第14条 患者にエネルギー又は物質を供給 する医療機器は、患者及び使用者の安全を保 証するため、供給量の設定及び維持ができる よう設計及び整造されていなければならない。 2 医療機器には、危険が及ぶ恐れのある不適 正なエネルギー又は物質の供給を防しては 警告する手段が具備され、エネルギー源又 は物質の供給源からの危険量のエネルギー や物質の偏勢的な効は一室的能な限り防止す る適切な手段が講じられていなければならない。 3 医療機器には、制御器及び表示器の機能が 明確に記されていなければならない。 操作 に必要な指示を医療機器に表示する場合。或 いは操作又は訓整用のパラメータを視覚的 に示す場合、これらの情報は、使用者(医療機器の収用にあたって患者の安全及び健康等に影響を及ぼす場合に限り、患者も含む。) にとって、容易に理解できるものでなければならない。 (自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器では関・に対している方とのではければならない。 (自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器では対する配慮) 第15条 自己検査医療機器では対する配慮) 第2を対して、定義性の使用にあたって患者の安全及び健康等に影響を及ぼす場合に限り、患者も含む。) にとって、容易に理解できるものでなければならない。 (自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器ではない はそれぞれの使用者が利用可能な対策及び 環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適 はこれぞれの使用者できるように設計及び製造されていなければならない。 2 自己検査医療機器等には、自己検査の変化の影響に配慮、用途に発すできるように設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器・自己検査 体外診断薬、自己投棄機器ではない。 3 自己検査医療機器・自己検査				9 Equipment temperature
(エネルギーを供給する医療機器に対する配慮) 第14条 患者にエネルギー又は物質を供給 する医療機器は、患者及び使用者の安全を保 証するため、供給量の設定及び維持ができる よう設計及び製造されていなければならない。 2 医療機器には、危険が及ぶ恐れのある不適 正なエネルギー又は物質の供給を防じ又は 警告する手段が具備され、エネルギー源又 は物質の供給源からの危険量のエネルギー や物質の偏勢的な放出を可能な限り防止す る適切な手段が講じられていなければならない。 3 医療機器には、制御器及び表示器の機能が 明確に記されていなければならない。操作 に必要な指示を医療機器に表示する場合。或 いは操作又は訓整用のパラメータを視覚的 に示す場合、これらの情報は、使用者(医療機器の収用にあたって患者の安全及び健康等に影響を及ぼす場合に限り、患者も含む。) にとって、容易に理解できるものでなければならない。 (自己検査医療機器でに対する配慮) 第15条 自己検査医療機器では可能な限のでは対ればならない。 (自己検査医療機器でに対する配慮) 第15条 自己検査医療機器では対する配慮) 第15条 自己検査医療機器では対するようない。 (自己検査医療機器等に対する配慮) 「第16条 に関係を関係という。) はそれぞれの使用者が利用可能な対策及び 環境の変化の影響に配慮、、用途に沿って適 正に操作できるように設計及び製造されて いなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取 扱い中、検体の取扱、中(検をを取り扱う場合に限る。)及び検査結果の解釈における誤 使用の危険性を可能な限り低減するように 設計及び駆きされていなければならない。 3 自己検査医療機器・自己検査 体外診断薬、自己投棄機器で はない。 「ない、特殊の取扱・中(検をを取り扱う場合に限る。)及び検査結果の解釈における誤 使用の危険性を可能な限り低減するように 設計及び駆きされていなければならない。 3 自己検査医療機器・自己検査 体外診断薬、自己投棄機器で はない。 2 自己検査医療機器・自己検査 体外診断薬 自己投棄機器で はない。 3 自己検査医療機器・自己検査				limits and protection
(エネルギーを供給する医療機器に対する配慮) 第14条 患者にエネルギー又は物質を供給 する医療機器は、患者及び使用者の安全を保 証するため、供給量の設定及び維持ができる よう設計及び製造されていなければならな い。 2 医療機器には、危険が及ぶ恐れのある不適 正なエネルギー又は物質の供給を防止又は 警告する手段が負備され、エネルギー源又 は物質の供給節からの危険量のエネルギー や物質の偶発的な放出を可能な限り防止す る適切な手段が講じられていなければならない。 3 医療機器には、制御器及び表示器の機能が 明確に記されていなければならない。 操作 に必要な指示を医療機器に表示する場合、或 いは操作又は調整用のパラメータを視覚的 に示す場合、これらの情報は、使用者(医療機器の使用にあたって患者の安全及び健康 等に影響を及ぼす場合に限り、患者も含む。 にとって、容易に理解できるものでなければならない。 (自己検査医療機器では)のより、患者も含む。 にとって、容易に理解できるのでなければならない。 (自己検査医療機器では)のより、患者も含む。 にとって、容易に理解できるのでなければならない。 (自己検査医療機器では)のより、患者も含む。 にとって、容易に理解できるのでなければならない。 (自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮 第に影音な必必影響に配慮、用途に対って適正に操作できるように設計及び製造されていなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取扱い中、検検を取り扱う場合に限る。)及び検査結果の解釈における誤使用の危険性を可能な取り低減するように 設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器、自己検査医療機器、自己検査 体外診断薬、自己検査医療機器、自己検査 体外診断薬、自己検査医療機器、自己検査				· ·
(エネルギーを供給する医療機器に対する配慮) 第14条 患者にエネルギー又は物質を供給 する医療機器は、患者及び使用者の安全を保 証するため、供給量の設定及び結封ができる よう設計及び製造されていなければならない。 2 医療機器には、危険が及ぶ恐れのある不適 正なエネルギー又は物質の供給を防止又は 警告する手段が具備され、エネルギー源又 は物質の供給源からの危険量のエネルギー や物質の偶発的な放出を可能な限り防止す る適切な手段が講しられていなければならない。 3 医療機器には、制御器及び表示器の機能が 明確に記されていなければならない。 はは操作又は調整用のバラメータを視覚的 に示す場合、これらの情報は、使用者(医療機器)を関したって患者の全及び健康 等に影響を図す場合に限り、患者も含む。) にとって、容易に理解できるものでなければならない。 (自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮が 手段並びに遺常生じ得る使用者の技術及び 環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適正に操作できるように設計及び製造されて いなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取 添い中、検体の取扱、中、検体を取り扱う場合に限る。) 及び検査結果の解釈における誤 使用の危険性を可能な限りに減ずるように 設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等に対していなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能なない。 不適用 自己検査医療機器。自己検査 体外診断薬、自己検査 体外診断薬、自己検査 体外診断薬、自己検査 体外診断薬、自己検査 体外診断薬、自己検査				'
第14条 患者にエネルギー又は物質を供給する医療機器は患者及び使用者の安全を保証するため、供給量の設定及び維持ができるよう設計及び製造されていなければならない。 2 医療機器には、危険が及る恐れのある不適正なエネルギー又は物質の供給を防止又は整告する手段が具備され、エネルギー源又は物質の供給療からの危険量のエネルギーや物質の偶発的な放出を可能な限り防止する適切な手段が講じられていなければならない。 3 医療機器には、制御器及び表示器の機能が明確に記されていなければならない、 はは操作又は調整用のパラメータを視覚的に示す場合、これらの情報は、使用者(医療機器の使用にあたって患者の安全及び健康等に影響を及ぼす場合に限り、患者も含む。)にとって、容易に理解できるものでなければならない。(自己検査医療機器所は対する配慮)、ことって、容易に理解できるものでなければならない。(自己検査医療機器所は対する配慮)は、手段並びに通常生じ得る使用者の技術及び環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適正に操作できるように設計及び製造されていばければならない。 2 自己検査医療機器等に対する影響を取慮し、用途に沿って適正に操作できるように設計及び製造されていなければならない。 2 自己検査医療機器等に、対する場合に限る。)及び検査結果の解解における誤使用の危険性を可能な限り促減するように設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能なない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能なない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能なない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能なない。不適用自己検査医療機器、自己検査医療機器。自己検査医療機器を持定していないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	/ エカルギーを供給する医療機器に対する配度	<u> </u>		to resistance to neat
「に供給する機器ではない」 「自己検査医療機器、自己検査医療機器、自己検査医療機器、自己検査医療機器ではない。 「はない。 「はない。」 「に供給する機器ではない」 「はない」 「に供給するはない」 「はない」 「に供給するはない」 「はない」 「に供給するはない」 「に供給するはない」 「に供給する機器ではない」 「に供給するはない」 「に供給を表述ない」 「に供給するはない」 「に供給するはない」 「に供給するはない」 「に供給するはない」 「に供給するない」				<u> </u>
証するため、供給量の設定及び維持ができるよう設計及び製造されていなければならない。 2 医療機器には、危険が及ぶ恐れのある不適正なエネルギー又は物質の供給を防止又は響告する手段が具備され、エネルギー源又は物質の供給療からの危険量のエネルギーや物質の偶発的な放出を可能な限り防止する適切な手段が講じられていなければならない。 3 医療機器には、制御器及び表示器の機能が明確に記されていなければならない。 3 医療機器には、制御器及び表示器の機能が明確に記されていなければならない。 4 医療機器にと、制御器及び表示器の機能が明確に記されていなければならない。 5 正然の要な指示を医療機器に表示する場合、或いは操作に必要な指示を医療機器に表示する場合、或いは操作又は調整用のパラメータを視覚的に示す場合、これらの情報は、使用者(医療機器の使用にあたって患者の安全及び健康等に影響を及ぼす場合に限り、患者も含む、)にとって、容易に理解できるものでなければならない。 (自己検査医療機器等に対する配慮) 第 1 5 条 自己検査医療機器等しよいうに支持を変が機器をして、対し、それぞれの使用者が利用可能な技能及び手段並びに通常生じ得る使用者の技術及び環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適正に操作できるように設計及び製造されていなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取扱い中、検体の取扱い中、検体を取り扱う場合に限る。及び検査結果の解釈における課使用の危険性を可能な限り低減するように設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な限り低減するように設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な限り低減するように設計及び製造されていなければならない。 5 自己検査医療機器、不適用、不適用、不適用、不適用、不適用、不適用、不適用、不適用、不適用、不適用		小週用 		
よう設計及び製造されていなければならない。 2 医療機器には、危険が及ぶ恐れのある不適 正なエネルギー又は物質の供給を防止又は 警告する手段が具備され、エネルギー源又 は物質の供給源からの危険量のエネルギー や物質の偶発的な放出を可能な限り防止す る適切な手段が講じられていなければならない。 3 医療機器には、制御路及び表示器の機能が 明確に記されていなければならない。 操作 に必要な指示を医療機器に表示する場合、或 いは操作又は調整用のパラメータを視覚的 に示す場合、これらの情報は、使用者(医療機器の使用にあたって患者の安全及び健康 等に影響を及ぼす場合に限り、患者も含む。) にとって、容易に理解できるものでなければならない。 (自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器又は自己投薬医療機器の収定の変化の影響に配慮し、用途に沿って適正に操作できるように設計及び製造されていなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の収取い中、検体の取扱い中、検体の取扱い中(検体を取り扱う場合に限る。)及び検査結果の解釈における誤使用の危険性を可能な限り低減するように 設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な はない。 一直に関金に原機器等には、合理的に可能ない。 不適用 自己検査医療機器。自己検査医療機器で はない。 「はない。 「はない。 「本外診断薬、自己検査 「体外診断薬、自己検査 「体外診断薬、自己投薬機器で はない。 「はない。 「はない。 「自己検査医療機器 自己検査 「ないり抵減するように 」自己検査医療機器、自己検査 「ないり抵減するように 」とはない。 「おり、おり、おり、おり、という、という、という、という、という、という、という、という、という、という			に供給する機器ではない	
て適用 に放工ネルギー又は物質の供給を防止又は 監告する手段が具備され、エネルギー源又は物質の供給源からの危険量のエネルギー や物質の偶発的な放出を可能な限り防止する適切な手段が講じられていなければならない。 医療機器には、制御器及び表示器の機能が 不適用 エネルギー又は物質を患者 に供給する機器ではない が適切な手段が講じられていなければならない。	証するため、供給量の設定及び維持ができる			
て変換器には、危険が及ぶ恐れのある不適 正なエネルギー又は物質の供給を防止又は 警告する手段が損備され、エネルギー 物質の供給源からの危険量のエネルギー 物質の偶発的な放出を可能な限り防止す る適切な手段が講じられていなければならない。 「房標と記されていなければならない。 操作 に必要な指示を医療機器に表示する場合、或 いは操作又は調整用のパラメータを視覚的 に示す場合、これらの情報は、使用者(医療機器の使用にあたって患者の安全及び健康等に影響を及ばす場合に限り、患者も含む。) にとって、容易に理解できるものでなければならない。 (自己検査医療機器でに対する配慮) 第15条 自己検査医療機器の収度に通常生し得る使用者の技術及び環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適まに操作できるように設計及び製造されていなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取扱い中、検体を取り扱う場合に限る。)及び検査結果の解釈における経境用の危険性を可能な限り低減すするように設計及び製造されていなければならない。 2 自己検査医療機器等には、当該医療機器の取扱い中、検体を取り扱う場合に限る。)及び検査結果の解釈における経境用の危険性を可能な限り低減するように良計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な 不適用 自己検査医療機器、自己検査 体外診断薬、自己投棄機器ではない。 「はない。」 自己検査医療機器に自己検査 ない診断薬、自己投棄機器ではない。 「はない。」 自己検査医療機器にしていなければならない。 1 自己検査医療機器にも己検査 ない診断薬にはない。 「はない。」 「自己検査医療機器、自己検査 ない診断薬、自己検査 ない診断薬、自己検査医療機器、自己検査 ないい。 「はない。」 「はないい。」 「はないいないないないないないないないないないないないないないないないないないな	よう設計及び製造されていなければならな			
正なエネルギー又は物質の供給を防止又は 警告する手段が具備され、エネルギー源又は物質の供給源からの危険量のエネルギー や物質の偶発的な放出を可能な限り防止する適切な手段が講じられていなければならない。 3 医療機器には、制御器及び表示器の機能が 明確に記されていなければならない。 操作 に必要な指示を医療機器に表示する場合、或いは操作又は調整用のバラメータを視覚的に示す場合、これらの情報は、使用者(医療機器の使用にあたって患者の安全及び健康等に影響を及ぼす場合に限り、患者も含む。)にとって、容易に理解できるものでなければならない。 (自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器以は自己投薬医療機器以下自己検査医療機器等という。)は、それぞれの使用者が利用可能な技能及び手段並びに通常生じ得る使用者の技術及び環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適正に操作できるように設計及び製造されていなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取扱い中、検体を取り扱う場合に限る。)及び検査結果の解釈における誤使用の危険性を可能な限り低減するように設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な、不適用 自己検査医療機器。自己検査 体外診断薬、自己投薬機器ではない。 「はない、「ないり、「ないり、「ないり、「ないり、「ないり、「ないり、「ないり、「な	l Ι _ο			
警告する手段が具備され、エネルギー源又は物質の供給源からの危険量のエネルギーや物質の偶発的な放出を可能な限り防止する適切な手段が講じられていなければならない。 3 医療機器には、制御器及び表示器の機能が 明確に記されていなければならない。 操作に必要な指示を医療機器に表示する場合、或いは操作又は調整用のパラメータを視覚的に示す場合、これらの情報は、使用者(医療機器の使用にあたって患者の安全及び健康等に影響を及ぼす場合に限り、患者も含む。)にとって、容易に理解できるものでなければならない。 (自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する違い、用途に沿って適 はない。 日之検査医療機器ではない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取 不適用 自己検査医療機器 自己検査 体外診断薬、自己投薬機器ではない。 2 自己検査医療機器等には、合理的に可能ない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能ない。 不適用 自己検査医療機器、自己検査 はない。	2 医療機器には、危険が及ぶ恐れのある不適	不適用	エネルギー又は物質を患者	
警告する手段が具備され、エネルギー源又は物質の供給源からの危険量のエネルギーや物質の偶発的な放出を可能な限り防止する適切な手段が講じられていなければならない。 3 医療機器には、制御器及び表示器の機能が 明確に記されていなければならない。 操作に必要な指示を医療機器に表示する場合、或いは操作又は調整用のパラメータを視覚的に示す場合、これらの情報は、使用者(医療機器の使用にあたって患者の安全及び健康等に影響を及ぼす場合に限り、患者も含む。)にとって、容易に理解できるものでなければならない。 (自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する違い、用途に沿って適 はない。 日之検査医療機器ではない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取 不適用 自己検査医療機器 自己検査 体外診断薬、自己投薬機器ではない。 2 自己検査医療機器等には、合理的に可能ない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能ない。 不適用 自己検査医療機器、自己検査 はない。	正なエネルギー又は物質の供給を防止又は		に供給する機器ではない	
は物質の供給源からの危険量のエネルギー や物質の偶発的な放出を可能な限り防止す る適切な手段が講じられていなければならない。 場件 明確に記されていなければならない。 場件 に必要な指示を医療機器に表示する場合。或 いは操作又は調整用のバラメータを視覚的 に示す場合。これらの情報は、使用者(医療 機器の使用にあたって患者の安全及び健康 等に影響を及ぼす場合に限り、患者も含む。) にとって、容易に理解できるものでなければならない。 (自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮 「場合ない。 「自己検査医療機器等に対する配慮」、不適用 自己検査医療機器ではない。 「はない。 「自己検査医療機器等は、当該医療機器の取扱い中、検体を取り扱う場合に限る。)及び検査結果の解釈における誤使用の危険性を可能な限り低減するように設計及び製造されていなければならない。 1 自己検査医療機器等には、合理的に可能な 1 自己検査医療機器、自己検査 1 はない。 1 自己検査医療機器では、自己検査 1 はない。 1 自己検査医療機器では、1 はない。 1 自己検査医療機器ではない。 1 自己検査医療機器ではない。 1 自己検査医療機器ではない。 1 自己検査医療機器ではない。 1 自己検査医療機器を可能な限り低減するように設計及び製造されていなければならない。 1 自己検査医療機器、自己検査				
や物質の偶発的な放出を可能な限り防止する適切な手段が講じられていなければならない。 3 医療機器には、制御器及び表示器の機能が明確に記されていなければならない。操作に必要な指示を医療機器に表示する場合、或いは操作又は調整用のパラメータを視覚的に示す場合、これらの情報は、使用者(医療機器の使用にあたって患者の安全及び健康等に影響を及ぼす場合に限り、患者も含む。)にとって、容易に理解できるものでなければならない。 (自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器を以は自己投薬医療機器(以下自己検査医療機器を)という。)は、それぞれの使用者が判用可能な対能及び環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適正に操作できるように設計及び製造されていなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取扱い中、検体を取り扱う場合に限る。)及び検査結果の解釈における誤使用の危険性を可能な限り低減するように設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な 不適用 自己検査医療機器、自己検査医療機器ではない。				
る適切な手段が講じられていなければならない。 3 医療機器には、制御器及び表示器の機能が				
ない。 3 医療機器には、制御器及び表示器の機能が 明確に記されていなければならない。 操作 に必要な指示を医療機器に表示する場合、或いは操作又は調整用のパラメータを視覚的に示す場合、これらの情報は、使用者(医療機器の使用にあたって患者の安全及び健康等に影響を及ぼす場合に限り、患者も含む。)にとって、容易に理解できるものでなければならない。 (自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器又は自己投薬医療機器以下自己検査医療機器等している。) は、それぞれの使用者が利用可能な技能及び手段並びに通常生じ得る使用者の技術及び環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適正に操作できるように設計及び製造されていなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取扱い中、検体の取扱い中(検体を取り扱う場合に限る。) 及び検査結果の解釈における誤しまない。 不適用 自己検査医療機器、自己検査 体外診断薬、自己投薬機器ではない。 不適用 自己検査医療機器ではない。 不適用 自己検査医療機器ではない。 不適用 自己検査医療機器、自己検査 体外診断薬、自己投薬機器ではない。 不適用 自己検査医療機器、自己検査				
3 医療機器には、制御器及び表示器の機能が 明確に記されていなければならない。操作 に必要な指示を医療機器に表示する場合、或いは操作又は調整用のパラメータを視覚的 に示す場合、これらの情報は、使用者(医療機器の使用にあたって患者の安全及び健康等に影響を及ぼす場合に限り、患者も含む。)にとって、容易に理解できるものでなければならない。 (自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) は、それぞれの使用者が利用可能な技能及び手段並びに通常生じ得る使用者の技術及び環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適正に操作できるように設計及び製造されていなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取扱い中、検体を取り扱う場合に限る。)及び検査結果の解釈における誤使用の危険性を可能な限り低減するように設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な 不適用 自己検査医療機器 自己検査医療機器 にはない。				
明確に記されていなければならない。 操作に必要な指示を医療機器に表示する場合、或いは操作又は調整用のパラメータを視覚的に示す場合、これらの情報は、使用者(医療機器の使用にあたって患者の安全及び健康等に影響を及ぼす場合に限り、患者も含む。)にとって、容易に理解できるものでなければならない。 (自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器又は自己投薬医療機器以下自己検査医療機器という。)は、それぞれの使用者が利用可能な技能及び手段並びに通常生じ得る使用者の技術及び環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適正に操作できるように設計及び製造されていなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取扱い中、検体を取り扱う場合に限る。)及び検査結果の解釈における誤使用の危険性を可能な限り低減するように設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な別・不適用自己検査医療機器、自己検査医療機器、自己検査医療機器ではない。	ない。			
明確に記されていなければならない。 操作に必要な指示を医療機器に表示する場合、或いは操作又は調整用のパラメータを視覚的に示す場合、これらの情報は、使用者(医療機器の使用にあたって患者の安全及び健康等に影響を及ぼす場合に限り、患者も含む。)にとって、容易に理解できるものでなければならない。 (自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器又は自己投薬医療機器以下自己検査医療機器という。)は、それぞれの使用者が利用可能な技能及び手段並びに通常生じ得る使用者の技術及び環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適正に操作できるように設計及び製造されていなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取扱い中、検体を取り扱う場合に限る。)及び検査結果の解釈における誤使用の危険性を可能な限り低減するように設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能ない、不適用自己検査医療機器、自己検査医療機器、自己検査医療機器ではない。	3 医療機器には、制御器及び表示器の機能が	不適用	エネルギー又は物質を患者	
に必要な指示を医療機器に表示する場合、或いは操作又は調整用のパラメータを視覚的に示す場合、これらの情報は、使用者(医療機器の使用にあたって患者の安全及び健康等に影響を及ぼす場合に限り、患者も含む。)にとって、容易に理解できるものでなければならない。 (自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器又は自己投薬医療機器以下自己検査医療機器等」という。)は、それぞれの使用者が利用可能な技能及び手段並びに通常生じ得る使用者の技術及び環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適正に操作できるように設計及び製造されていなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取扱い中、検体の取扱い中、検体を取り扱う場合に限る。)及び検査結果の解釈における誤使用の危険性を可能な限り低減するように設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な不適用 自己検査医療機器、自己検査		1 ~		
いは操作又は調整用のパラメータを視覚的 に示す場合、これらの情報は、使用者(医療機器の使用にあたって患者の安全及び健康等に影響を及ぼす場合に限り、患者も含む。) にとって、容易に理解できるものでなければならない。 (自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器又は自己投薬医療機器以下自己検査医療機器等」という。) は、それぞれの使用者が利用可能な技能及び手段並びに通常生じ得る使用者の技術及び環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適正に操作できるように設計及び製造されていなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取扱い中、検体を取り扱う場合に限る。)及び検査結果の解釈における誤使用の危険性を可能な限り低減するように設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な不適用自己検査医療機器、自己検査医療機器ではない。			TO MAIN OF STREET	
に示す場合、これらの情報は、使用者(医療機器の使用にあたって患者の安全及び健康等に影響を及ぼす場合に限り、患者も含む。)にとって、容易に理解できるものでなければならない。 (自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器又は自己投薬医療機器以び自己検薬医療機器、自己検査医療機器、自己検査を療機器、自己検査を療機器では、それぞれの使用者が利用可能な技能及び手段並びに通常生じ得る使用者の技術及び環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適正に操作できるように設計及び製造されていなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取扱い中、検体の取扱い中、検体の取扱い中、検体の取扱い中(検体を取り扱う場合に限る。)及び検査結果の解釈における誤使用の危険性を可能な限り低減するように設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な不適用自己検査医療機器、自己検査				
機器の使用にあたって患者の安全及び健康 等に影響を及ぼす場合に限り、患者も含む。) にとって、容易に理解できるものでなければならない。 (自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器等」という。)は、それぞれの使用者が利用可能な技能及び手段並びに通常生じ得る使用者の技術及び環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適正に操作できるように設計及び製造されていなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取扱い中、検体の取扱い中、検体の取扱い中(検体を取り扱う場合に限る。)及び検査結果の解釈における誤使用の危険性を可能な限り低減するように設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な不適用自己検査医療機器、自己検査				
等に影響を及ぼす場合に限り、患者も含む。)にとって、容易に理解できるものでなければならない。 (自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器又は自己投薬医療機器(以下)自己検査医療機器等」という。)は、それぞれの使用者が利用可能な技能及び事段並びに通常生じ得る使用者の技術及び環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適正に操作できるように設計及び製造されていなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取扱い中(検体を取り扱う場合に限る。)及び検査結果の解釈における誤使用の危険性を可能な限り低減するように設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な不適用自己検査医療機器、自己検査医療機器、自己検査医療機器ではない。				
にとって、容易に理解できるものでなければならない。 (自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器又は自己投薬医療機器以いて自己検査医療機器等」という。)は、それぞれの使用者が利用可能な技能及び野境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適正に操作できるように設計及び製造されていなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取扱い中、検体を取り扱う場合に限る。)及び検査結果の解釈における誤使用の危険性を可能な限り低減するように設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な不適用 自己検査医療機器、自己検査				
ならない。 (自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器又は自己投薬医療機器以下自己検査医療機器等」という。)は、それぞれの使用者が利用可能な技能及び等段並びに通常生じ得る使用者の技術及び環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適正に操作できるように設計及び製造されていなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取扱い中、検体の取扱い中、検体の取扱い中、検体を取り扱う場合に限る。)及び検査結果の解釈における誤使用の危険性を可能な限り低減するように設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な不適用自己検査医療機器、自己検査				
(自己検査医療機器等に対する配慮) 第15条 自己検査医療機器又は自己投薬医療機器(以下)自己検査医療機器等」という。)は、それぞれの使用者が利用可能な技能及び				
第15条 自己検査医療機器又は自己投薬医療機器(以下)自己検査医療機器等」という。)は、それぞれの使用者が利用可能な技能及び 手段並びに通常生じ得る使用者の技術及び 環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適正に操作できるように設計及び製造されていなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取扱い中、検体の取扱い中(検体を取り扱う場合に限る。)及び検査結果の解釈における誤使用の危険性を可能な限り低減するように設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な不適用 自己検査医療機器、自己検査医療機器、自己投薬機器ではない。	ならない。			
療機器(以下)自己検査医療機器等」という。) は、それぞれの使用者が利用可能な技能及び 手段並びに通常生じ得る使用者の技術及び 環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適 正に操作できるように設計及び製造されて いなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取 扱い中、検体の取扱い中(検体を取り扱う場合に限る。)及び検査結果の解釈における誤 使用の危険性を可能な限り低減するように 設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な 不適用 自己検査医療機器、自己検査	(自己検査医療機器等に対する配慮)			
は、それぞれの使用者が利用可能な技能及び 手段並びに通常生じ得る使用者の技術及び 環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適 正に操作できるように設計及び製造されて いなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取 扱い中、検体の取扱い中(検体を取り扱う場 合に限る。)及び検査結果の解釈における誤 使用の危険性を可能な限り低減するように 設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な 不適用 自己検査医療機器、自己検査 体外診断薬、自己投薬機器で はない。	第15条 自己検査医療機器又は自己投薬医	不適用	自己検査医療機器、自己検査	
は、それぞれの使用者が利用可能な技能及び 手段並びに通常生じ得る使用者の技術及び 環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適 正に操作できるように設計及び製造されて いなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取 扱い中、検体の取扱い中(検体を取り扱う場 合に限る。)及び検査結果の解釈における誤 使用の危険性を可能な限り低減するように 設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な 不適用 自己検査医療機器、自己検査 体外診断薬、自己投薬機器で はない。	療機器(以下「自己検査医療機器等」という。)		体外診断薬、自己投薬機器で	
手段並びに通常生じ得る使用者の技術及び 環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適 正に操作できるように設計及び製造されて いなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取 扱い中、検体の取扱い中(検体を取り扱う場 合に限る。)及び検査結果の解釈における誤 使用の危険性を可能な限り低減するように 設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な 不適用 自己検査医療機器、自己検査			はない。	
環境の変化の影響に配慮し、用途に沿って適正に操作できるように設計及び製造されていなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取扱い中、検体の取扱い中、検体を取り扱う場合に限る。)及び検査結果の解釈における誤使用の危険性を可能な限り低減するように設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な不適用 自己検査医療機器、自己検査				
正に操作できるように設計及び製造されていなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取扱い中、検体の取扱い中、検体を取り扱う場合に限る。)及び検査結果の解釈における誤使用の危険性を可能な限り低減するように設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な不適用 自己検査医療機器、自己検査				
いなければならない。 2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取扱い中、検体の取扱い中、検体の取扱い中、検体を取り扱う場合に限る。)及び検査結果の解釈における誤使用の危険性を可能な限り低減するように設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な不適用 自己検査医療機器、自己検査				
2 自己検査医療機器等は、当該医療機器の取扱い中、検体の取扱い中(検体を取り扱う場合に限る。)及び検査結果の解釈における誤使用の危険性を可能な限り低減するように設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な不適用 自己検査医療機器、自己検査				
扱い中、検体の取扱い中(検体を取り扱う場合に限る。)及び検査結果の解釈における誤使用の危険性を可能な限り低減するように設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な不適用 自己検査医療機器、自己検査		不溶田		
合に限る。) 及び検査結果の解釈における誤 はない。 はない。 はない。 はない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な 不適用 自己検査医療機器、自己検査		八週州		
使用の危険性を可能な限り低減するように 設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な 不適用 自己検査医療機器、自己検査				
設計及び製造されていなければならない。 3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な 不適用 自己検査医療機器、自己検査			はない。	
3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な 不適用 自己検査医療機器、自己検査				
場合、製造販売業者等が意図したように機能 体外診断薬、自己投薬機器で	3 自己検査医療機器等には、合理的に可能な	不適用	自己検査医療機器、自己検査	
	場合、製造販売業者等が意図したように機能		体外診断薬、自己投薬機器で	
することを、使用に当たって使用者が検証ではない。	することを、使用に当たって使用者が検証で		はない。	
きる手順を含めておかなければならない。	きる手順を含めておかなければならない。			
(製造業者・製造販売業者が提供する情報)	(製造業者・製造販売業者が提供する情報)			

使用者には、使用者の訓練及び知識の程度を考め	適用	認知された規格・基準の該当	医療機器の添付文書の記載要
慮し、製造業者・製造販売業者名、安全な使用		する項目に適合することを	領について (薬食発第 0310003
法及び医療機器又は体外診断薬の意図した性能		示す。	号 平成 17年 3月 10日)
を確認するために必要な情報が提供されなけれ			
ばならない。この情報は、容易に理解できるも			JIS C 1010-1:測定、制御及び
のでなければならない。			研究室用電気機器の安全性
			第1部:一般的要求事項
			5.表示および文書
			IEC 61010-2-042:1997
			Safety requirements for
			electrical equipment for
			measurement, control, and
			laboratory use Part 2-042:
			Particular requirements for
			autoclaves using steam for
			the treatment of medical
			materials, and for
			laboratory processes
			5. Marking and Documentation
			5. Warking and bocumentation
			JIS T 7328: 医療用ホルムアル
			デヒドガス消毒器
			4. 設計上の要求事項
			4. 成引工以安小争项
		認知規格に従ってリスク管	JIS T 14971: 医療機器 - リス
		理が計画・実施されているこ	クマネジメントの医療機器へ
		とを示す。	の適用
(性能評価)			
第16条 医療機器の性能評価を行うために	適用	認知された基準に従ってデ	医療機器の製造販売認証申
収集されるすべてのデータは、薬事法(昭和			請について(薬食発第
三十五年法律第百四十五号)その他関係法令		す。	0331032 号 平成 17 年 3 月
の定めるところに従って収集されなければ			31日)第2の1 別紙2
ならない。			
2 臨床試験は、医療機器の臨床試験の実施の	不適用	臨床試験を必要とする医療	
基準に関する省令(平成十七年厚生労働省令		機器ではない。	
第三十六号)に従って実行されなければなら		122 H C 100:00 -0	
ない。			